銚子ジオパーク推進市民の会ニュース

茨城県北ジオを見学して

11月19日（月）工藤会長以下銚子ジオパーク推進市民の会会員有志17名の茨城県北ジオパーク見学会が行なわれました。

見学したジオサイトは「五浦海岸ジオサイト」、「花貫渓谷ジオサイト」の2か所でした。事前に当方より依頼していたため茨城県北ジオパーク事務局長、5名のインタープリター（＝解説者、翻訳者・茨城県北ジオパークではボランティアガイドをこう呼んでいるそうです）に丁寧な解説をしていただきました。

「五浦海岸ジオサイト」は隆起した1900万年前の堆積層の「硬さ、脆さの差」による浸食度合いの違いによりできた五つの浦の美しい景色で知られ、明治後期に岡倉天心が居住し海岸崖上に六角堂立てたことでも有名です。

この六角堂は先の東日本大震災の津波で流失し（海抜7mの崖上ありましたが10・7mの津波による被害）、再建がされたばかりでした。

またここで太平洋末期にアメリカ合衆国向けて飛ばされた風船爆弾の発射台基礎が残っており見学させてもらいました。

昼食後、高萩市にある「花貫渓谷ジオサイト」の見学を行いました。花貫渓谷は2億500万年前の花崗岩が隆起し花貫川の浸食を受けて出来た美しい渓谷です。花崗岩もその由来により硬度に大きな違いがあるとの興味深い解説がありました。またこの季節は紅葉が美しく18日（日）には大変な人出であったようです。その後「高萩炭鉱資料館」を見学し帰途につきました。

朝7時より12時間をかけたハードな見学会でしたが他ジオパークでどのような解説がされているのかを体験できたこと、また茨城県北ジオパークのインタープリターと交流が持てたことなど非常に有意義な日でした。（川原）

高萩炭鉱資料館前にて

銚子ジオパーク認定記念 ウォークラリー大会

日時　２０１２年１１月２４日（土）
午前９時半受付、午前１０時開始

場所　犬吠埼灯台前集合
ウォークラリーは犬吠埼～暁鶏館

主催　銚子ジオパーク推進市民の会

服装及び持ち物　歩くのに適した服装で、飲み物、タオル、筆記用具など

内容　会場周辺やく２ｋｍのコースを廻り各チェックポイントの問題に全問回答していただいた方に粗品を進呈します。

銚子ジオパーク推進市民の会事務局
TEL 0479-30-4638

下仁田ジオに行ってきました

会長　工藤　忠男

11月12日（月）13日（火）に、同僚の議員3名と一緒に、群馬県の下仁田ジオパークと富岡の製糸工場へ行ってきました。

12日は下仁田ジオパーク、宿泊は富岡。13日は富岡の製糸工場へ行くという日程です。

下仁田のジオパークは、今年の始めの「秩父のジオパークの研修会」で同じ班になった、ガイドの飯島さんという方がいるので、その方にガイドをお願いしました。

下仁田ジオパークは、銚子と同じくコンパクトにまとまっていて、ジオサイトから次のジオサイトにはすぐに行ける距離にあります。「下仁田ジオパーク基本構想」という冊子が渡され案内してもらいました。

当日見たジオサイトは「川井の断層（中央構造線）」と「跡倉クリッペ（根なし山）とすべり面」です。

冊子は写真・図が豊富で説明は短く簡潔、解りやすいものです。中に「付加体」等専門用語の説明やジオサイトごとの「ココがすごい」として、見どころを50字くらいで説明してありました。しかし、ガイドの説明は専門用語が多く、一緒に行った人達は理解するのが大変なようでした。

説明板は、駅にあったのは「音声付」、ジオサイトごとのは雨の入らないレターボックスがついていて、そこに観光客が自由に持って行けるジオサイトの説明が書かれたものが入っていました。

「下仁田ジオパーク」は、前身が「下仁田自然学校」であり、そこが沢山の「下仁田の地質」についてのテキストを出しています。

13日は富岡製糸工場を見てきました。最近、世界遺産の候補地に決定したこともあり、観光客は普段日ですが多かったです。普段日で1日1千人位、土・日曜日で1日2千人位です。入場料は一人500円ですので入場料の収入はかなりのものです。お土産物屋、近所の食堂もかなり混んでいました。

ガイドは1人で観光客20人位案内していましたが。富岡製糸工場のガイドは全部で90人でやっている、とのことです。

今後の主な日程

☆11月26日AM9～
教育支援・船木小
現地見学

☆11月30日AM9～
教育支援・清水小
現地見学・授業

☆12月15日AM9～
犬吠埼・清掃&現地見学会

☆12月20日PM7～
第3回マスター講座
「伊能忠敬と銚子のかかわり・銚子巡検参加報告」